

ブラジル政府が新たなインフラ民営化計画を公表

- ブラジル政府の投資パートナーシップ・プログラム (PPI) は新たなインフラ運営権売却および民営化計画を公表。
- 計画には空港、高速道路、港湾、発送電、通信などのセクターの運営権入札や、国営企業の民営化が含まれる。
- 運営権売却益や民営化収入は政府の財政目標達成に寄与。また、政府はブラジル電力公社の民営化計画も承認。
- 民営化計画を受けてボベスパ指数は節目の7万ポイント台へ上昇。テメル大統領は年金改革の推進を改めて表明。

政府はインフラ民営化計画の第二弾を公表

ブラジル政府の投資パートナーシップ・プログラム (PPI) は8月23日、新たなインフラ運営権売却および民営化計画 (57プロジェクト) を公表しました。

公表されたプロジェクトには、空港、高速道路、港湾ターミナル、発送電、通信などのセクターでの運営権入札のほか、造幣・パスポート発行企業や宝くじ運営企業など国営企業の民営化が含まれています (図1)。

特に、サンパウロ市のコンゴニャス空港はブラジル空港インフラ公社 (Infraero) が抱える空港の中でも最も収益性が高い空港とみられており、運営権入札額は最低でも56億レアル (約1,960億円*) と推定されています。

これら入札や民営化は2018年末までに実施される計画で、運営権売却や民営化からの収入はブラジル政府の財政目標達成に寄与すると期待されています。 (*) 1レアル=35円換算

政府はブラジル電力公社の民営化計画を承認

また、ブラジル政府は同日、鉱山・エネルギー省が提案したブラジル電力公社 (エレクトロブラス) の民営化計画を承認しました。政府によれば、エレクトロブラスの民営化は、政府が参加しない増資によって行われる模様です。政府は国家運営に関わる戦略的決定への拒否権を確保するため、現在の保有株は売却しない方針を示しています。

ボベスパ指数は節目の70,000ポイント台へ上昇

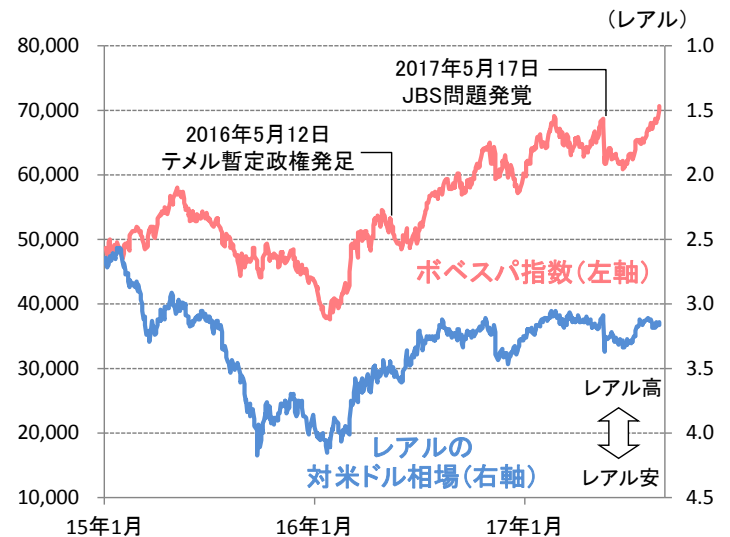
インフラ運営権売却や国営企業民営化の計画が明らかになったことを好感し、主要株価指数であるボベスパ指数は2011年1月以来となる節目の70,000ポイント台へ上昇しました (図2)。テメル政権による民営化推進は、政局混乱を受けて低下した経済改革への市場や産業界の信認を取り戻す意図があると考えられます。テメル大統領は8月22日の鉄鋼業界の会合で年金改革を諦めない方針を改めて表明し、産業界からの改革への支持を求めました。

図1：ブラジル政府が公表したインフラ民営化計画

セクター	プロジェクト数	主なプロジェクト
空港	18	コンゴニャス空港 (サンパウロ) グアルーリョス国際空港 (サンパウロ) ガレオン空港 (リオ・デジャネイロ)
高速道路	2	BR-153号線 BR-364号線
港湾ターミナル	16	パラナグア港穀物ターミナル ミラマール港液化石油ガス・ターミナル
発送電	16	ジャグアラ水力発電所
通信	1	航空管制システム
国営企業 民営化	4	造幣・パスポート発行企業 宝くじ運営企業

(出所) 投資パートナーシップ・プログラム (PPI)、各種報道
(注) リストにはインフラ運営権売却および民営化の計画が含まれる。

図2：ブラジルのボベスパ指数とレアル相場の推移



(出所) ブルームバーグ (期間) 2015年1月1日~2017年8月23日

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的としてレグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。